

令和6年12月第9回本山町議会定例会会議録

1. 招集年月日及び場所

令和6年12月3日（火）

本山町議会議事室

2. 応招議員

1 番 吉川 裕三	2 番 川村 太志	3 番 永野 栄一
4 番 松繁 美和	5 番 白石 伸一	6 番 上地 信男
7 番 中山 百合	8 番 大石 教政	9 番 澤田 康雄
10 番 岩本 誠生		

3. 不応招議員

4. 出席議員

応招議員と同じ

5. 欠席議員

不応招議員と同じ

6. 職務のため議場に出席した事務局員の職氏名

議会事務局長 松葉 早苗 主査 清岡 康隆

7. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名

町 長 澤田 和廣 副町長 高橋 清人 教育長 大西 千之
総務課長 田岡 学 住民生活課長 大石 博史 政策企画課長 前田 幸二
まちづくり推進課長 田岡 明 建設課長 中西 一洋 健康福祉課長 澤田 直弘
病院事務長 佐古田 敦子

8. 議事日程

日程第1. 会議録署名議員の指名

日程第2. 会期の決定、議長諸般報告

日程第3. 議案第63号から議案第71号及び同意第19号から同意第20号及び諮問第1号一括上程並びに提案理由の説明

日程第4. 付託事件調査・所管事務調査の委員会報告

開会 9 : 0 0

○議長（岩本誠生君）おはようございます。

町長より、令和6年12月第9回本山町議会定例会を招集する旨告示され、本日ここに議員各位をはじめ執行部の皆さん全員の出席により本定例会が開会できますことに、まずもって感謝を申し上げます。

開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年も師走を迎え、いつものことながら時の流れの早さに驚くばかりであります。元旦早々の能登半島地震災害、さらに9月には能登豪雨による災害が発生し、複合災害となりました。改めてこれらの災害により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、なかなか進まないと言われております復旧・復興が一日も早く実現しますよう念ずるものであります。本町においても、まさかの備えのため安心・安全のまちづくりへの取組を強化しなければならないことを痛感する次第でございます。

さて、議会も残すところ任期1年8か月、町長は残任期1年となり、町長もいろいろお考えのことと存じますが、議会としまして、ここでいま一度その立場を再認識しなければならないと思うところであります。言うまでもなく議会は政策形成及び実施の過程において多面的に参画し、その要所要所で重要な意思決定を行い、議会が決定した政策に基づき行う執行機関の行財政の運営や事務処理、事業の実施が適法適正に、しかも公平、効率的かつ民主的に行われているかどうかを見極め、批判、監視しなければなりません。

この批判と監視は非難や批評や論評ではなく、住民全体の立場に立った正しい批判であり、監視であるべきことは言うまでもないことであります。住民の皆様の行政に対する関心が高まる中で、さらに議員はただ単に住民の声や気持ちを代弁するだけではなく、多くの方々と対話を重ね、課題を調査研究し、福祉の向上と本町の発展のために積極的に努力することが求められているところであります。すなわち全議員がその職責を認識し、積極的に議会において議論し、行動することが議会の使命を果たすことであり、住民の皆様の負託に応えることだと確信をいたすところであります。

これらのことを念頭に置き、議員と執行部全員が信念と情熱を持ってそれぞれの立場、持ち場を自覚し、その役割を果たし、充実した議会となることを期待するものであります。本定例会における白熱した論戦の展開とスムーズな議事進行へのご協力をお願い申し上げます。私の挨拶といたします。ありがとうございました。

ただいまの出席議員は10名で定足数に達しております。これより令和6年第9回本山町議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配付したプリントのとおりであります。

~~~~~

### 日程第１．会議録署名議員の指名

○議長（岩本誠生君）日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第１２５条の規定により、８番 大石教政 さん、９番 澤田康雄 さんを指名いたしますので、両名はご了承をお願いします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### 日程第２．会期の決定、議長諸般報告

○議長（岩本誠生君）日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。今期定例会の会期は、本日より１２月１２日までの１０日間といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）異議なしと認めます。

したがって、会期は本日より１２月１２日までの１０日間と決定いたしました。

この際、議長の諸般報告をいたします。

諸般報告につきましては、お手元に配付いたしましたプリントのとおりでありますので、お目通しをいただきたいと思います。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

### 日程第３．議案第６３号から議案第７１号及び同意第１９号から同意第２０号及び諮問第

#### １号一括上程並びに提案理由の説明

○議長（岩本誠生君）日程第３、議案第６３号から議案第７１号及び同意第１９号から同意第２０号及び諮問第１号を一括上程いたします。

事務局に議案名を朗読させます。松葉事務局長。

○事務局長（松葉早苗君）（別紙のとおり朗読）

○議長（岩本誠生君）以上で朗読を終わります。

ここで町長より行政報告並びに提案理由の説明を求めます。澤田町長。

○町長（澤田和廣君）おはようございます。本日、全議員にはお繰り合わせの上ご出席をいただきまして、ここに令和６年第９回の本山町議会定例会が開会できますことに、厚くお礼を申し上げます。

議会開会に当たりまして行政報告を申し上げます。

地方財政の課題と基本的な予算編成方針について申し上げます。

国は経済財政運営と改革の基本方針２０２４等を踏まえ、地方団体がＤＸ、デジタル技術やＧＸ、再生可能エネルギーの推進、人への投資、地方への人の流れの強化、能登半島地震の教訓を踏まえた防災・減災の取組の強化、こども・子育て支援や地域医療の確保な

ど、地域経済の好循環や持続可能な地域社会の実現などに取り組むことができるよう、安定的な税財政基盤を確保するとしております。国の動向を踏まえまして、県では10月、令和7年度の予算編成方針として、①戦略的な人口減少対策の推進、②デジタル化、グリーン化、グローバル化の取組など重点施策の推進、③南海トラフ地震対策、防災・減災対策などのインフラ整備の推進、④県勢浮揚と県財政の持続可能性の両立を柱とすることが示されました。

本町としましても、これまで以上に国や県の動向、社会情勢を注視し、事業の実効性の検証を行いながら、住民サービスの確保と地域活性化のための予算の重点化を図ってまいります。特に自主財源の確保と国や県、その他の補助金等を活用するための情報収集に努め、新規事業だけではなく既存事業についても補助制度の新設、変更等に注意を払い、活用可能な補助金の確保に努めてまいります。普通建設事業につきましては、これまでの大型事業による起債償還が増加することなどから、さらに実施時期の検討と選択を行い、財政健全化を進めなければなりません。これらのことを踏まえまして、令和7年度予算編成に現在当たっているところでございます。

続きまして、旧役場本庁舎の解体についてでございます。

令和5年4月から新庁舎の業務を開始して以降、懸案でありました旧役場本庁舎の解体につきましては、12月補正予算に、今回の補正予算に事業費5,003万2,000円を計上いたしました。周辺住民の皆様への工事概要の説明会を実施し、年内に工損調査、これは工事前に損害が生じるおそれがある周辺の建物の損傷調査でございます、を行います。解体の工期としましては、令和7年2月に工事発注、令和7年6月末の完了を目指しております。解体工事中は周辺地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

続きまして、「土佐天空の郷」の作況及びみどりの食料システム法への対応について申し上げます。

令和6年産のブランド米「土佐天空の郷」の作況については、ヒノヒカリが1,033袋、前年度が1,774袋でございましたので741袋の大幅減収、にこまるが2,260袋で、前年度2,292袋で32袋の微減となりました。ヒノヒカリが減収となった主な原因といたしましては、夏場の高温と水不足による米品質低下が影響したものと考えられております。減収の一方、今夏からの全国的な米不足の影響によって新米の取引価格は大幅な上昇に転じておりまして、嶺北管内の玄米買取り価格は、ヒノヒカリ1等級1袋で前年より約24%増の9,150円、昨年度は7,400円となっております。

今後においては、本山町堆肥センターのリニューアルに併せて、ペレット化をした牛ふん堆肥の利用を拡大し化学肥料を低減することで、稲作農家のコスト削減と環境負荷軽減にも配慮した環境型農業への転換を図り、農林水産省の推進するみどりの食料システム、これは環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律と長いものでございますけれども、これに基づきまして特定区域の指定を町全

域に設定し、ブランド米のさらなる高付加価値を目指すことで、経営拡大とさらなる環境型農業への転換を図ってまいります。

続きまして、山崎調整ダム魚道整備と吉野川河川整備計画の推進について申し上げます。

山崎調整ダム魚道整備の検討材料とするため、令和6年10月28日から30日までの3日間の日程で、町議会の皆様と共に熊本県球磨川の瀬戸石ダムにて視察研修を行いました。球磨川では、平成5年に国の魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業として、魚類が自然に遡上・降下できる優しい川づくりをテーマにした魚道等の整備が始まり、平成14年に完成し、魚類が遡上する様子が見学できる魚道観察施設も併設されておりました。

本町では昨年に引き続きまして、吉野川河川整備計画に基づく河畔整備と山崎調整ダムへの魚道整備に向けて、本年11月1日に高知県土木部に要望活動を行いました。高知県では本年度、山崎調整ダム周辺の魚道整備に係る基礎調査を実施しております。また、嶺北中央病院下の河川整備に着手する予定となっております。今後、調査の結果を注視するとともに近隣市町村や漁業協同組合等と連携して、高知県吉野川水系河川整備計画に基づく山崎ダム魚道整備と河川整備に向けて、積極的に取り組んでまいります。

以上、行政報告とさせていただきます。

続きまして、今回提案いたしました議案を説明させていただきます。(別紙のとおり議案提案理由説明)

以上をもちまして、議案に関しましての説明を終わります。何とぞご審議の上、適切な議決を賜りますようお願いいたします。

○議長（岩本誠生君）以上で行政報告並びに提案理由の説明を終わります。

~~~~~

日程第4．付託事件調査・所管事務調査の委員会報告

○議長（岩本誠生君）日程第4、付託事件調査・所管事務調査の委員会報告を行います。

更新住宅建設事業等の調査特別委員会が報告することを承認し、6番、上地信男さんに報告を求めます。

6番、上地信男さん。

○更新住宅建設事業等の調査特別委員長（上地信男君）（別紙のとおり委員長報告）

○議長（岩本誠生君）以上で、更新住宅建設事業等の調査特別委員長の報告を終わります。

これより質疑を許します。質疑はありませんか。

7番、中山百合さん。

○7番（中山百合君）特別委員会の報告を読ませていただきました。令和5年11月7日から全部で7回、本当に委員の皆さんにはご苦労さまでございました。この中で、これは28年当時の町長の建設戸数というところでずっと書いておりますけれども、やはり特別委員会というのは本当にどうしても結論を出せないまま、ずっと今まであったと思うんで

すけれども、やはりその責任はあまりにも重いと本委員会としては判断したということをしていすけれども、その後ということはどう後、執行部に頼むということだと思ふのと、それとも一つ、前町長がもう国のほうへ10戸は建てませんよという部分で、委員会とか議会にも地区の委員にも全然お話もせずにしたことは、本当にいかんと思っておりますけれども、この特別委員会は果たして何だったろうかと。

やっぱり私もずっと、もう四、五年も前からこういう更新住宅の住み替えのことに対してはずっと質問をしてきました。特別委員会も結論も出ないので特別委員会を立ち上げたと思うんですけれども、そうしたら結論というのは、もう委員の中ではこれは調べたけれども、もう結論はこれでもうおしまい、これでもう終わりということだと思ふんですけれども、これ以上のことは幾ら本委員会であっても進歩はないということだと思っておりますけれども、そうしたら委員会のほうでは責任がとても重いということだったら、その後はまだ調査をする必要はもうないということなんでしょうか。

それと、あとは町長が今度新たな公営住宅の建設を、この課題を解決して検討していくということも、令和6年3月議会において報告をしておりますけれども、もうこれは本当に7回やって皆さん大変だったと思いますが、ちょっと私としましたらこの文章ではまだちょっと納得のいかないところもあって、そして、旧の壊す住宅に対してもやはり道筋もちゃんと聞いていないので、もう少し詳しい説明をしていただきたいなと思っておりますけれども。

以上です。

○議長（岩本誠生君）6番、上地信男さん。

○6番（上地信男君）お答えをさせていただきます。

判断的なものに対してのご質問もございました。結論ですね。それについては、私どもが付託を受けとる部分については、事務の内容と最終的に旧の更新住宅を取り壊すと、それについての道筋を図るという内容で調査したんですが、一つは、事務に当たっては今の現状を招いたのは前町長が非常に恣意的、思いつきでの事務をやったのではないかということで判断をさせていただいて、こちらのほうにその内容を記載させていただいております。当然、あわせて予算の執行上、不用となったものについては必要最小限を減額する、それをある程度の時期には早い段階ですべきこと、あわせて、事務内容が非常に十分でなかった内容を付しております。最後まで置いたということで、現在の町長が大きな事業の金額の減額に当たったということでございます。

そもそも予算というのは3月に当初予算を組んで、年が明けて4月に入って予算を減額しておりますが、その間に大きく補正予算もございました。増額の。そういうふうなことで予算執行というのは極めて非常に重要なことも併せて言いました。それと、今後につきましては最後のほうに記載しております。執行部の方針に従って、早急にこのように示した施政方針の内容で解決に当たっていただきたいというような内容を付して、本委員会のある程度の責任においての調査の限界を感じたということも、併せて報告させていただきます。

きましたので後の解決に、取壊しまでについては執行部に今後の姿勢を見せていただきたい。当然予算的なものが生じれば議会も慎重に審議し、対応させていただきたいというようなことでお答えをさせていただきました。

以上です。

○議長（岩本誠生君） 7 番、中山百合さん。

○7 番（中山百合君）ありがとうございました。

この文章の中で2ページの中の辺に、建設戸数については、前町長は一般質問等の答弁では住み替え戸数は40戸と答弁していますけれども、建て替えを目的に始まった事業の変更説明も議会に正式になく、これ本当にいかんかったですね。また、現町長が令和4年3月議会に、4年ということは2年、6年、3年、2年前ですかね、これ2億か、2億円余りの建設の減額補正予算を提出した時点でも、建設戸数は50戸を40戸にするものではないと説明を行っていますが、これには間違いはないとしているけれども、以上の内容について調査の中でそれぞれ確認を取ったということでしたけれども、それはちゃんと確認をしていただいたということでしょうか。

○議長（岩本誠生君） 6 番、上地信男さん。

○6 番（上地信男君）調査の中で確認を取りました。

以上です。

○議長（岩本誠生君） 7 番、中山百合さん。

○7 番（中山百合君）そうしたら、そういうことで7回も委員会を立ち上げてやったことは本当に大変だったと思いますけれども、私としてはやっぱりこの課題というのは何年も何年も前からの課題ですので、なかなか結論ということは出ないと思うんですけれども、先ほど委員長が言ったみたいに執行部とも話しながら、やっぱり改善策をちゃんと立てていただいて速やかにしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（岩本誠生君）ほかに質疑はありませんか。

（発言する声なし）ないようでしたら質疑を終わります。

~~~~~

○議長（岩本誠生君）次に、総務常任委員会が報告することを承認し、9番、澤田康雄さんに報告を求めます。

9 番、澤田康雄さん。

○総務常任委員長（澤田康雄君） （別紙のとおり委員長報告）

○議長（岩本誠生君）以上で、総務常任委員長の報告を終わります。

これより質疑を許します。質疑はありませんか。

(発言する声なし) ないようですので、質疑を終わります。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（岩本誠生君）次に、産業土木常任委員会が報告することを承認し、5番、白石伸一さんに報告を求めます。

5番、白石伸一さん。

○産業土木常任委員長（白石伸一君）（別紙のとおり委員長報告）

○議長（岩本誠生君）以上で、産業土木常任委員長の報告を終わります。

これより質疑を許します。質疑はありませんか。

(発言する声なし) 質疑ないようですので、質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

以上で、付託事件調査・所管事務調査の委員会報告を終わります。

なお、今回は嶺北広域行政事務組合議会の報告はありません。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（岩本誠生君）以上をもって本日の日程は全て終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。お疲れさまでした。

午前 9時50分 散会